

【寄り添いの力を育む】

参加費無料

～高齢化する知的障害者への支援と連携～

相模原市は南北に長く、特に緑区は山梨県に隣接する地理的特性から、中央区・南区と同様の対面研修を届けることが難しい状況にあります。こうした中、昨年度緑区で実施した障害平等研修は、地域支援者から高い評価を受け、地域に根ざした学びの場の重要性が改めて浮き彫りとなりました。

今年度は、緑区の支援者から寄せられた声をもとに、知的障害を持つ方々の高齢化に伴う生活・行動面の変化に焦点を当て、より実践的かつ地域に即した内容での研修を企画しました。東京福祉大学の庄司 妃佐教授をお招きし、支援者としての対応力を高め、地域・関係機関との連携のあり方についても深めていきます。

障害者支援と高齢者支援が交わる場面が増える中で、ケース対応を通して地域・関係機関が協働を進めることは、これからの支援の質を高めるうえで欠かせません。この研修が、支援者一人ひとりの「気づき」と「つながり」を育み、地域における包括的な支援体制の構築につながることを願っています。

【日時】 令和8年1月19日（月）17:30～19:30

【場所】 津久井やまゆり園 体育館（相模原市緑区千木良476）



【講師】

しょうじ ひさ

庄司 妃佐 先生

東京福祉大学 教授

（社会福祉学部社会福祉学科）

定員80名
先着順

奈良県出身。東洋英和女学院大学院人間研究科博士課程後期課程満期退学。専門は、発達心理学、ソーシャルワーク論、社会福祉学。精神科病院、社協のソーシャルワーカーの後、2001年度より、城西国際大学教授を経て、2022年度末和洋女子大学家政学部学部長退職。2023年度より、東京福祉大学社会福祉学部教授。2017年―2019年まで、東京医科歯科大学非常勤講師。2013年度から、2022年度末まで、市川市社会福祉審議会委員、市川市障害福祉部会会長、浦安市社会福祉審議会会長。2022年度より、一般社団法人東京特別支援教育研究センター理事。社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、臨床発達心理士、介護支援専門員。2018年ソーシャルワーク演習研究会編「すぐに使える！学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習」中央法規、2023年庄司妃佐編「子ども家庭支援論」アイ・ケイコーポレーション。

研修会の詳細および申込みは裏面（次ページ）をご覧ください

【主催】 社会福祉法人相模原市社会福祉事業団
【共催】 相模原市障害福祉事業所協会

【寄り添いの力を育む】
～高齢化する知的障害者への支援と連携～

研修会詳細

参加費無料

《講師》

しょうじ ひさ
庄司 妃佐 先生
東京福祉大学 教授

《日時》

令和8年1月19日(月)
17時30分～19時30分

《場所》

津久井やまゆり園 体育館
相模原市緑区千木良476

※駐車スペースは十分ありますが、混雑を避けるため乗り合わせ等ご協力お願いします。

《内容》

- 知的障害者が認知症を発症する際の気づきのポイント
- 知的障害者の高齢化に伴う意思決定支援について
- 認知症の方への対応について

《対象者》

- ・相模原市内の福祉サービス事業所等職員(高齢者支援含む)
- ・相模原市内在住で市外の福祉サービス事業所等職員(高齢者支援含む)
- ・相模原市内在住もしくは在勤で、今研修テーマに関心のある方

《申込締切》 令和8年1月13日(火)

下記のURL・2次元コードから、受付フォームにご入力ください。

<https://sagamihara-shafuku.online/study/forms/k2.html>



研修一覧2次元コード

☆問い合わせ先☆

相模原市立障害者支援センター松が丘園
TEL:042-758-2121(ガイダンス後2番)
担当:加藤・天野

【主催】社会福祉法人相模原市社会福祉事業団
【共催】相模原市障害福祉事業所協会